

あさがお通信

第十二号

二〇〇八年四月一日発行
大津市浜大津三丁目二・四
NPO 法人あさがお
発行人 鎌田昭二郎

虐待問題研修会を開催しました

2月25～27日の3日間にわたって、平成19年度滋賀県高齢者虐待問題研修会を開催しました。この研修会は市町担当課や地域包括支援センターの職員を対象に、虐待ケースの介入時に必要とされる知識や技能等の修得を目的としたもので、今回は立命館大学大学院・応用人間科学研究科教授、団士郎先生を講師にお招きし、3日間連続でワークショップを交えた講義をいただきました。

団先生には虐待問題を考えるにあたって避けて通れない「家族」について『家族支援を学ぶ』というテーマで、ジェノグラム(三世代以上の人間関係を盛り込んだ関係図)の作成の基本から、家族の構造、家族の問題解決に必要な考え

『新年度を迎えるにあたって』

「会うは別れの始まりと言いまして…」とあちらこちらから司会の声が聞こえる時期になりました。あさがおも開設以来4年目に入り、後見活動の中では、昨年度は31人の出会いと7人との別れがありました。現在、後見等は70件と大きく増加いたしました。そこで多くの方達とその多様性に対応するため、相談員を1名増員し4名体制と致しました。

今年度は、今日まで3年間に培われたノウハウの更なる活用と、明日の人材育成事業第2弾に取りかかるとともに、脆弱な財政基盤を強化出来る方策の検討を進めたいと思います。

ところで、事務所は見かけ何も変わりませんが、新しく男性が加わった相談員4人グループと事務グループが機能的に仕事を出来るよう配置換えを行うとともに、奥の応接室を多目的のミーティングルームへと衣替えしました。

私たちの仕事は高齢化がどんどん進行するなか、大変厳しい現実を目の当りにしています。4月になりますと、桜を代表とした木々の花や、チューリップやすみれ等の草花が咲き誇り、何故かしら気持ちがワクワクして来ます。厳しい現実とこの良き環境をうまくバランスを取りながら、皆で気持ち良く仕事をしています。みなさん、一度事務所にお立ち寄り下さいませんか。職員一同お待ち致しております。

方(システム論)を教えていただきました。

講義後のアンケートでは、「虐待に限らず、家族支援というものは、あらゆる相談場面で不可欠なものだと感じた」「参加者の研修で気づきを与えてもらった」などの「意見を多数頂戴し、大変好評を得ました。」

ワークショップを通して実際に体験することと、新たな視点を持つことができ、適切な家族理解について考えを深める良い機会になったと思います。



ご寄付ありがとうございました

昨年9月発行の前々号にて、ご寄付を頂いた方にお礼を申し上げます。その後も引き続きご寄付頂いた方がおられますので、ここにお名前を挙げさせていただきます、お礼を申し上げます。

大 國 美智子 様
中 島 美代子 様
山 田 容 様
株式会社ピアライフ様

今後とも、職員一同精一杯努力して参ります。どうぞあさがおをよろしくお願い申し上げます。

